

科目名		授業形態	担当教員名	
放射線計測学実験		実験	野沢井 隆・田中 悟・松本 貴 村山 法幸・大河原 賢一	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間（1 単位）		23 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
放射線の測定方法と機器の操作法を理解する。 実験を通して放射線の測定原理を理解する。 実験項目は、実験1：GM計数管のプラトー特性、実験2：ガスフロー比例計数管によるα線およびβ線の測定、実験3：連続X線の半価層の測定と実効エネルギーの算定、実験4：散乱線の水平分布の測定				
授業の到達目標				
実験から得た測定値の整理、評価、考察方法について学び、実験報告書を記述する。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線関連施設見学（原子力発電所見学）			
2	ガイダンス及び実験説明			
3	ガイダンス及び実験説明			
4	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
5	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
6	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
7	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
8	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
9	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
10	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
11	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
12	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
13	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
14	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
15	実験1・実験2・実験3・実験4 レポート準備と作成			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	80%	レポート内容を評価する。		
小テスト				
平常点	20%	実習態度		
その他		正当な理由なくレポートの提出がない場合には不可とするので注意すること。		
自由記載		各項目後に課したレポートと受講態度を加味して評価する。		
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
新・医用放射線技術実験 基礎編	田中 仁 他		共立出版	
アイソトープ手帳	日本アイソトープ協会		丸善	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
実験説明は教室にて行うが、実験では各班に分かれて各実験室で実施する。				